

ロジックモデルと 指標の活用の仕方 を 身につける研修会

参加費
無料



国および沖縄県ではロジックモデルを活用し、がん計画を進捗管理し、住民のための効果を高めることになっています。委員の方々から「もっとロジックモデルの活用の仕方を学びたい」との声をいただき、研修会を企画しました。みんなで集まり、立場を超えてグループワークも交え、ともに楽しく学びましょう！委員全員のご参加をお待ちしています。

日時 第1回 令和6年 11月17日① 13:00~17:30
第2回 令和6年 12月22日① 13:00~17:30

※どちらも同じ内容になります。

ご都合の良い日時をお選びいただき、ご参加ください。

会場 Zoomによるオンライン開催

対象者

沖縄県がん診療連携協議会
協議会委員、幹事会委員、専門部会(小児・AYA部会、
離島・へき地部会、医療部部会、情報提供・相談支援部会、
緩和ケア・在宅医療部会、ベンチマーク部会)委員

参加申込

専用フォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/crUAJYZSHZD1JSRB6>

第1回参加申込締切:11月8日①

第2回参加申込締切:12月13日①



プログラム

- 13:00 開会・アイスブレイク
- 13:10 全体オリエンテーション
ロジックモデルとは？
今日のワークの概要
- 13:30 ワーク①
ロジックモデルの指標を
読んで地域診断する
- 14:30 休憩
- 14:40 ワーク②
ロジックモデルにある
施策の優先度を検討する
- 15:40 休憩
- 15:50 ワーク③
施策の進捗評価を
シミュレーションする
- 17:00 まとめ
リフレクション、質疑応答
- 17:30 終了

沖縄県がん診療連携協議会主催

ロジックモデルと指標の活用の仕方を 身につける研修会

開催日時: 第1回 令和6年11月17日(日)13:00~17:30

第2回 令和6年12月22日(日)13:00~17:30

場 所: Zoomによるオンライン開催

司会/進行

埴岡 健一 先生 (国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野 教授)

ファシリテーター

大井 久美子 氏 (奈良県吉野保健所健康増進課 課長)

高嶺 公子 氏 (沖縄県保健医療介護部地域包括ケア推進課 課長)

長浜 麻紀子 氏 (沖縄県保健医療介護部医療政策課 主幹)

松本 佳子 氏 (一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構)

吉田 真季 氏 (一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構)

プログラム		
13:00~13:05	開会の挨拶	琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人
13:10~13:30	全体オリエンテーション ロジックモデルとは？ 今日のワークの概要	≪講師≫ 埴岡 健一 先生
13:30~14:30	ワーク①ロジックモデルの指標を読んで地域診断する	
14:30~14:40	休憩	
14:40~15:40	ワーク②ロジックモデルにある施策の優先度を検討する	
15:40~15:50	休憩	
15:50~17:00	ワーク③施策の進捗評価をシミュレーションする	
17:00~17:25	まとめ(リフレクション、質疑応答)	
17:25~17:30	閉会の挨拶	琉球大学病院がんセンター長 増田 昌人